

**事業概要シート (□事務事業 ■補助金等事業)**

事業名称	老人クラブ活動助成事業		事業種別	補助	担当部課	健康保険部 健康長寿課		事務事業No.	2				
事業期間	昭和38年度 ~ 継続		記入者	主査 神崎 秀夫									
事業の経緯	老人クラブは戦後まもない昭和25年頃、高齢者自らが集い誕生した自主組織で、本市では、昭和31年9月に中央学区で初めて発足された。以後昭和38年に制定された老人福祉法や平成6年の新ゴールドプラン(高齢者保健福祉推進10か年戦略の見直し)等において、高齢者の社会参加・生きがい対策の推進組織として位置づけがされてきた。 本市では、地域単位の老人クラブとそれらを連携する大津市老人クラブ連合会に対し、その運営の適正化と組織の育成を図るため、指導を行なうとともに補助金を交付してきた。				根拠法令	老人福祉法(第13条)							
					根拠条例	なし							
					必須業務の有無	なし							
事業目的・事業の位置づけ(首長公約、マニフェスト、総合計画、緊急度など)	本事業は、第4期大津市高齢者福祉計画・介護保険事業計画(おおつゴールドプラン2009)の健康支援策に位置づけられており、老人クラブ活動を通じて、高齢者本人の健康増進と介護予防を促進し、世代間の交流もはかっている。				これまでの成果	成果の内容	高齢者の健康増進、教養を深める場となり、生涯現役で活躍されることで、高齢者自身の介護予防につながる。また、長年培った経験と知識を生かした地域活動に取組まれている。						
	活動指標名	老人クラブ会員数(老人クラブ連合会未加入団体含む)											
事業概要・施設概要 (補助金の場合、補助率・算出根拠・限度額、対象者など)	○単位老人クラブへの補助金 連合会加入クラブ 月額3,100円×12月+311円×会員数 連合会未加入クラブ 月額3,100円×12月+100円×会員数 ○市老人クラブ連合会への補助金 58円×総会員数+各事業に対する補助金+事務局運営補助金				指標の推移	単位	H19実績	H20実績	H21見込	目標値(H)			
						人	13,838	13,453	13,500	—			
【収入】	千円		H19実績	H20実績	H21見込	対象者の状況	対象者の推移	単位	H19実績	H20実績	H21見込	目標値(H)	
	使用料・手数料						将来の動向	人	80,863	87,083	89,504	—	
国支出金(補助率 1/3)					3,531	民間委託	委託の現状	なし					
県支出金(補助率 2/3・1/2)	6,981		7,266		403		受け皿の存在	なし					
その他( )						市における類似事業	対象者名	60歳以上の人口					
収入合計	6,981		7,266		3,934		対象者の推移	単位	H19実績	H20実績	H21見込	目標値(H)	
【支出】	千円		H19実績	H20実績	H21見込	近隣・同等規模等の都市の状況	将来の動向	60歳以上の人口は、団塊の世代(1947~1949年生まれ)が退職を迎えるここ3年程が、増加率のピークと考えられるが、対象者が今後もさらに増加していくことは確実と見込まれる。					
人件費	正規職員	従事人数(人)	1.5	1.5	1.5		委託の現状	委託の現状	なし				
	臨時・嘱託・再雇用職員	従事人数(人)				受け皿の存在		なし					
人件費	人件費	12,450	12,600	12,600	市における類似事業	受け皿の存在	○大津市高齢者就業機会確保事業費補助金 大津市シルバー人材センターが実施する高齢者就業機会確保事業に要する経費の一部に対して補助金を交付し、センターの育成を図り、高齢者の就業機会の確保、生きがいづくり、社会参加を促進する。						
事業費(予算・決算)	22,209		22,676			22,833	近隣・同等規模等の都市の状況	将来の動向	滋賀県内の13市の全ての市において、単位老人クラブ及び各市老人クラブ連合会に対して補助金を交付しており、単位老人クラブに対する補助金については、うち5市が滋賀県在宅老人福祉事業費補助金の補助基準額で交付しており、それ以外の市では基準を上回る額を交付している。 また、各市老人クラブ連合会に対する補助金については、県の補助基準額を上回って交付している市は、本市を含めて10市ある。				
支出合計	34,659		35,276		35,433	【収支】		千円	H19実績	H20実績	H21見込	国、県の補助金の動向	平成20年度までは、県から2/3の補助率の滋賀県在宅老人福祉事業費補助金の交付を受けていたが、平成21年4月に中核市に移行したことで、国の1/3の補助率の在宅福祉事業費補助金となり、市の持ち出し分が増えている。
【収支】	千円		H19実績	H20実績	H21見込		廃止したときの影響	一般財源充当額	27,678	28,010	31,499		一部の団体は自主財源で活動を続けることができるかもしれないが、多くの団体が解散し、残った団体についても、活動事業が限定され、徐々に衰退していくことが予想される。
一般財源充当額	0		0		0	その他特記事項(事業仕分けにかけた理由、議論して欲しい点、留意事項など)		対象者あたり一般財源充当額	0	0	0	老人クラブは、高齢者の生きがいや社会参加の場を提供する重要な役割を担っている一方で、その会員数は年々減少している。(60歳以上の加入率：平成21年4月現在13.5%、10年前23%、20年前34%、25年前44%) 時代の変化により、老人クラブ活動は役割を終えつつあるのか、あるいは地域社会のつながりが希薄になっている時代だからこそ、それを強化するための施策が必要なのかを議論していただきたい。市民の目から見て、老人クラブの活動はどのように映っているのか、どのような点に期待できるかを議論していただくことで、今後の施策に生かしたい。	
主な事業費(H21見込)	事業名称	事業概要		事業費			その他特記事項(事業仕分けにかけた理由、議論して欲しい点、留意事項など)	事業費	22,153			老人クラブは、高齢者の生きがいや社会参加の場を提供する重要な役割を担っている一方で、その会員数は年々減少している。(60歳以上の加入率：平成21年4月現在13.5%、10年前23%、20年前34%、25年前44%) 時代の変化により、老人クラブ活動は役割を終えつつあるのか、あるいは地域社会のつながりが希薄になっている時代だからこそ、それを強化するための施策が必要なのかを議論していただきたい。市民の目から見て、老人クラブの活動はどのように映っているのか、どのような点に期待できるかを議論していただくことで、今後の施策に生かしたい。	
	老人クラブ活動補助金	単位老人クラブと市老人クラブ連合会に補助金を交付する。		22,153		国、県の補助金の動向		平成20年度までは、県から2/3の補助率の滋賀県在宅老人福祉事業費補助金の交付を受けていたが、平成21年4月に中核市に移行したことで、国の1/3の補助率の在宅福祉事業費補助金となり、市の持ち出し分が増えている。					
	高齢者世代間交流事業	高齢者と子ども建たちの交流事業を老人クラブ連合会に委託し、各学区で実施する。		525		廃止したときの影響		一部の団体は自主財源で活動を続けることができるかもしれないが、多くの団体が解散し、残った団体についても、活動事業が限定され、徐々に衰退していくことが予想される。					
						その他特記事項(事業仕分けにかけた理由、議論して欲しい点、留意事項など)		老人クラブは、高齢者の生きがいや社会参加の場を提供する重要な役割を担っている一方で、その会員数は年々減少している。(60歳以上の加入率：平成21年4月現在13.5%、10年前23%、20年前34%、25年前44%) 時代の変化により、老人クラブ活動は役割を終えつつあるのか、あるいは地域社会のつながりが希薄になっている時代だからこそ、それを強化するための施策が必要なのかを議論していただきたい。市民の目から見て、老人クラブの活動はどのように映っているのか、どのような点に期待できるかを議論していただくことで、今後の施策に生かしたい。					